

令和8年3月17日

令和7年度病害虫防除技術情報（第10号）

和歌山県農作物病害虫防除所

チャバネアオカメムシの越冬量について

県内全域でチャバネアオカメムシの越冬量が平年よりもやや多くなっています。ほ場を見回り、発生に応じて防除を行いましょう。

1. 病害虫名：チャバネアオカメムシ
2. 対象地域：県内全域
3. 越冬量：やや多
4. 加害期間：4月下旬～
5. 越冬状況

落葉中のチャバネアオカメムシ越冬成虫の捕獲頭数は、落葉50リットル当たり1.5頭（前年0.2頭、平年0.6頭）、捕獲地点率は27.7%（前年14.9%、平年20.8%）であった（表）。

表 チャバネアオカメムシの越冬量調査の結果

年次	H28	H29	H30	H31	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	平年
捕獲頭数/地点	0.5	0	1.5	0.1	0.2	0.1	0.3	0.0	2.9	0.2	1.5	0.6
捕獲地点率(%)	31.0	0	61.7	6.4	13.0	8.5	21.7	2.1	48.9	14.9	27.7	20.8

※定点の落葉50リットルを1～2月に採集して調査 平年：H28～R7の平均

※調査か所数：R4のみ46、それ以外は47

6. 今後の対応
  - 1) 4月以降の発生動向については、果樹カメムシ類の予察灯での誘殺数データを農作物病害虫防除所ウェブページ内の果樹カメムシ情報 (<https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/072000/d00216368/kajukame.html>) に掲載しているので、これらの情報や各地域の振興局、JA等の情報を参考にする。
  - 2) 4月以降、気温の上昇とともに越冬成虫がほ場に飛来し、果実に被害が出始めるので注意する。
  - 3) 飛来量はほ場間差が大きいので、ほ場内での発生及び被害状況をよく観察し、防除は発生に応じて早めに行う。
  - 4) 防除薬剤は最新の登録情報（農林水産省 農薬登録情報提供システム <https://pesticide.maff.go.jp/>）を参照し、適正に使用する。

和歌山県農作物病害虫防除所 紀の川駐在(0736-73-2274)  
有田川駐在(0737-52-4320)  
みなべ駐在(0739-74-3780)